

# 16Gbps ファイバーチャネルカードご使用上の注意

(PYxFC221 / PYxFC222)

(PYxFC331 / PYxFC332)

このたびは、当社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本製品をご使用になる上での注意事項がございますので、本書をよくお読みの上、ご使用願います。

2020年1月  
富士通株式会社

## 1. ファームウェア / ドライバの適用について

- ・本製品をご使用の際は、以下 URL から最新版のファームウェア / ドライバをダウンロードの上、ファームウェア / ドライバ版数を合わせてご利用ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

- ・本製品を以下の PRIMERGY でご使用になる場合、ファームウェアの版数を以下の版数に合わせてください。  
[PYxFC221 / PYxFC222]

PRIMERGY	ファームウェア版数
RX2530 M1 / RX2540 M1 / RX,TX2560 M1 CX2550 M1 / CX2570 M1	10.2.405.13～11.1.172.15
RX2530 M2 / RX2540 M2 / RX,TX2560 M2 CX2550 M2 / CX2570 M2	10.6.193.15～11.1.172.15

[PYxFC331 / PYxFC332]

PRIMERGY	ファームウェア版数
RX2530 M2 / RX2540 M2 / RX,TX2560 M2 CX2550 M2 / CX2570 M2	11.1.172.14 のみ
RX2530 M4 / RX2540 M4 RX4770 M4	11.2.210.8 以降

- ・本製品を保守部品と交換する際、保守部品のファームウェア版数が上記より古い場合がありますのでご注意ください。その場合は、上記 URL からファームウェアをダウンロードしてアップデートしてください。

## 2. サーバ起動時のメッセージについて

サーバ起動時の POST 画面に以下メッセージが表示される場合がありますが、動作に影響はありません。

“Using CLP data for CNA boot targets and port enablement.”  
本件は、ファームウェア(v1.1.43.202)で修正済です。

### 3. 仮想ファイバーチャネル(vFC)機能

Windows Server 2012 を使用されている場合で、ドライバ版数(V2.76.2.1)以前のドライバを適用されている場合、Hyper-V 仮想ファイバチャネル(vFC)機能をご使用になることはできません。  
本件は、ドライバ(V2.76.2.1)にて修正済です。

### 4. 接続先スイッチのリンク速度設定

接続先スイッチのポートリンク速度を固定に設定する場合は、本製品のポート設定も同じリンク速度に設定してください。

### 5. ストレージ装置とのダイレクト接続(ファイバーチャネルスイッチ未使用)について

・本製品を FC-SAN ブート構成でストレージ装置にダイレクト接続する場合、本製品の BIOS 設定で Auto Scan Setting を"First LUN 0 device"に設定してください。  
本件は、ファームウェア(v10.6.193.22)で修正済です。

・本製品をストレージ装置にダイレクト接続する場合、VIOM(ServerView Virtual-IO Manager)による FC-SAN ブート設定はできません。  
本件は、ファームウェア(v10.6.193.22)で修正済です。

・本製品をストレージ装置にダイレクト接続する場合、本製品の BIOS 設定で Topology を"Auto Topology: Point to Point"に設定してください。  
本件は、ファームウェア(v10.6.193.22)で修正済です。

・本製品を FC-SAN ブート構成でストレージ装置にダイレクト接続する場合、4/8G Link Speed 設定で使用することはできません。  
本件は、ファームウェア(v11.1.172.15)で修正済です。

・本製品を FC-SAN ブート構成でストレージ装置にダイレクト接続する場合、サーバ側の BIOS を UEFI BIOS モードにしてください。Legacy BIOS モードでは使用できません。

・本製品を FC-SAN ブート構成でストレージ装置にダイレクト接続する場合、eIOV による FC-SAN ブート設定は出来ません。  
本件は、ファームウェア(v12.0.261.15)で修正済です。

### 6. FC BIOS Utility 設定について

・本製品の BIOS 設定の Topology 項目は、"Fabric Point to Point"を選択できない場合があります。  
その際は、"Auto Topology: Point to Point"に設定し、ご使用ください。  
本件は、ファームウェア(v11.1.172.15)で修正済です。

・本製品を以下の CPU が搭載している環境、且つ Legacy BIOS で、ご使用の場合 FC BIOS Utility に入れないことがあります。その場合は、Legacy BIOS 設定を UEFI BIOS に変更していただき、下記手順で FC BIOS Utility 設定を行ってください。

対象 CPU : Xeon(R)プロセッサ Gold 5122(3.60GHz/4 コア/16.5MB)x1

設定手順:

1. 下記マニュアルの「BIOS 設定」【UEFI モード】項をご参照の上、BIOS を UEFI モードに変更しシステムを再起動させます。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/pdf/note/uefi.pdf>

2. BIOS セットアップの Main メニュー画面で「Advanced」メニューを選択し、システムの全てのアダプター一覧を表示させます。
3. アダプタポート(Emulex LightPluse LPe3100x...)を選択し、[Enter]キーを押します。
4. 手順 1 にて BIOS を UEFI モードに変更した際は、OS 起動前に手順 1 の同ドキュメント内【BIOS モードへの変更手順】を参照し、Legacy モードに戻してください。

## 7. ストレージ環境との接続性について

・PRIMERGY に本製品 (Emulex 製) と他ベンダ HBA を混在させて、同一ストレージ装置の同一ディスクに対して、両 HBA 間でパスの冗長構成を組むことはできません。

## 8. ブラケット(金具)の Port 番号について

・PYxFC222 のブラケットには、Port 番号が、「上部:Port0, 下部:Port1」と印字されていますが、一部のブラケットにおいては、「上部:Port1, 下部:Port2」と印字されている場合があります。

その場合は、「上部:Port0, 下部:Port1」に読み替えてご使用ください。

※下部が PCI Slot 側になります。

以上